

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2010-502519(P2010-502519A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-508369(P2009-508369)

【国際特許分類】

B 6 5 D 39/16 (2006.01)

B 6 5 D 39/02 (2006.01)

B 6 5 D 35/44 (2006.01)

B 6 5 D 51/16 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 39/16 Z

B 6 5 D 39/02 D

B 6 5 D 35/44 J

B 6 5 D 51/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月17日(2008.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベースプレート(10)およびタブ(1)を有するオープナであって、使用時に金属蓋パネル(21)の孔を閉じることができ、パネル(21)の一面にはベースプレート(10)が設けられかつ他面にはタブ(1)が設けられ、ベースプレートおよび/またはタブが更に壁(12)を備え、該壁(12)がプレートまたはタブからそれぞれ垂直に延びていて、蓋の孔の周囲をシールすべく孔の縁部と締り嵌めまたは摩擦嵌めを形成する構成のオープナにおいて、

オープナが、金属蓋パネルを備えた金属蓋と組合せて使用されるとき、タブ(1)の操作がベースプレート(10)の移動に変換され、

蓋パネルおよびオープナが、蓋パネルに対してオープナを移動させて開放および再閉鎖を行う補完構造を有していることを特徴とするオープナ。

【請求項2】

前記補完構造は、蓋パネルの第一カムプロファイル(29)およびベースプレートの第一カムフォロワ(28)を有していることを特徴とする請求項1記載のオープナ。

【請求項3】

前記補完構造は、蓋パネル上の1つ以上のレールおよびベースプレート上の1つ以上の溝、または蓋パネル上の1つ以上の溝およびベースプレート上の1つ以上のレールを有していることを特徴とする請求項1記載のオープナ。

【請求項4】

前記ベースプレートは蓋パネルの下面と協働してシールを形成し、該シールは、蓋がその閉位置にあるときに内部圧力が発生すると付勢されることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項記載のオープナ。

【請求項5】

前記シールは、蓋が再閉鎖されると再び付勢されることを特徴とする請求項4記載のオーブナ。

【請求項6】

前記ベースプレート(10)は、該ベースプレート(10)から垂直に離れる方向に延びているボタン(14)を備え、タブ(1)はリベット孔(15)を備え、タブ(1)は、ボタン(14)をリベット孔(15)内にかしめてリベット(11)を形成することにより、パネル(21)の一面上にはベースプレート(10)が配置されかつ他面上にはタブ(1)が配置されるようにしてベースプレート(10)に固定されることを特徴とする請求項1から5のいずれか1項記載のオーブナ。

【請求項7】

前記タブは、ベースプレートまたは蓋パネルの補完通気孔を通って延びることができるラグを有していることを特徴とする請求項1から6のいずれか1項記載のオーブナ。

【請求項8】

前記タブは、通気および/または再閉鎖を行う1つ以上のヒンジを有していることを特徴とする請求項1から7のいずれか1項記載のオーブナ。

【請求項9】

請求項1から8のいずれか1項記載の金属蓋とオーブナとの組合せ。

【請求項10】

タブプロファイルを更に有し、該タブプロファイルは、第二カムフォロワとして機能する構造および第二カムとして機能する蓋の補完構造、または第二カムとして機能する構造および第二カムフォロワとして機能する蓋の補完構造を有することを特徴とする請求項9記載の組合せ。

【請求項11】

前記蓋は、第二カムとして機能するチャック壁を備えた缶端部であることを特徴とする請求項10記載の組合せ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、ベースプレートおよびタブを有するオーブナであって、使用時に金属蓋パネルの孔を閉じることができ、パネルの一面にはベースプレートが設けられかつ他面にはタブが設けられ、ベースプレートおよび/またはタブが更に壁を備え、該壁がプレートまたはタブからそれぞれ垂直に延びていて、蓋の孔の周囲をシールすべく孔の縁部と締り嵌めまたは摩擦嵌めを形成する構成のオーブナにおいて、

オーブナが、金属蓋パネルを備えた金属蓋と組合せて使用されると、タブの操作がベースプレートの移動に変換され、

蓋パネルおよびオーブナが、蓋パネルに対してオーブナを移動させて開放および再閉鎖を行う補完構造を有していることを特徴とするオーブナが提供される。